

1 趣 旨

高校生が地域づくりや地域の課題解決などに関する体験活動を通して、課題発見・問題解決能力を身に付け、新たな価値を創造する人材育成に資するとともに、それぞれの実践活動の成果や自身の成長を適切に評価し、青少年の体験活動に関する社会的な認知を高める。

2 主 催

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立磐梯青少年交流の家

3 期 日

第1期：令和3年7月22日(木)～7月24日(土) 2泊3日

第2期：令和3年8月21日(土)～8月22日(土) 1泊2日【国立磐梯青少年交流の家（詳細は第1期に伝達予定）】

審査会：令和3年11月13日(土)

地区大会：令和3年12月26日(日)【国立那須甲子青少年自然の家】

全国大会：令和4年2月13日(日)

4 会 場

福島いこいの村なみえ（以降：いこいの村なみえ）及び国立磐梯青少年交流の家、フィールドワーク各会場

5 対象者

福島県内の高校1年生～高校3年生 20名程度

※第1期と第2期の間に活動状況を GoogleMeat 等で確認致しますので通信できることを条件とします。

6 参加費 一人当たり¥11,000 当日受付にてお支払いください。

（内訳）1泊目 □ いこいの村なみえ（保険料，食費，宿泊代，教材費 8,676円）

2泊目 □ 磐梯青少年交流の家（保険料，食費，宿泊代，教材費 2,424円）

7 持ち物

□活動しやすい服装 □筆記用具 □雨具（傘・レインウェア等） □保険証のコピー □マスク

□着替え □洗面用具 □タオル □帽子 □上履き □財布（7月23日昼食代）

□常備薬 □参加費

8 個人情報の取り扱いについて

申込時にご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構等の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット（ソーシャルメディアサービスを含む）等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物に記事・写真を掲載することもあります。

なお、当機構がインターネット上に公開した肖像権及び著作権について、本人（又は保護者）から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。

*ご承諾いただけない場合は事前に事業担当者へご相談ください。

9 日程

7月22日(木)

【開会式・ガイダンス 会場：いこいの村なみえ】

⇒全国高校生体験活動顕彰制度の説明を受けるとともに、オリエンテーション合宿の確認をする。

【講話「福島県の復興の現状」講師：磐梯青少年交流の家所長】

⇒福島県の復興の現状からの風評被害・リスクコミュニケーションの強化に向けての今後の活動についての講話を通して、地域での活動を実践するための意欲を高める。

【フィールドワーク①「地域理解と地域探究の把握」【松川浦ガイドの会（松川浦旅館の若旦那）、東日本大震災伝承館】

⇒地域づくりに関する取組について活動を体験し、その魅力を発見する。

【講義・演習 1：地域理解】

⇒グループ協議において、フィールドワーク①で得た個人の気づきや発見を共有するとともに、フィールドワーク先の活動目的を考えることで、地域理解をより深める。

【講義・演習 2：地域課題に関するフィールドワークの進め方～自己のテーマの設定とフィールド計画立案～】

⇒フィールドワーク①において参加者一人一人が感じた地域の魅力や課題について、自らのアイデアによる仮説(解決策)を立て、グループ全員で共有する。また、フィールドワーク②に向けて、仮説を検証するための質問や取組をグループで検討する。

7月23日(金)

【フィールドワーク②：「地域課題の探究」】

○食べてもらう（相馬双葉漁業協同組合磯部水産加工施設・なみえ焼そばの旭屋）

○来てもらう（相馬市観光協会・古滝屋）

○知ってもらう（福島水素エネルギー研究所・富岡復興メガソーラーSAKURA・Jヴィレッジ）

⇒講義・演習 2 で立てたグループ内一人一人の仮説をグループで検証するため、フィールドワーク②先へのインタビュー等を行い、疑問点を確認したり、より有効な活動(解決策)を探ったりするための取組を行う。

【講義・演習 3：地域課題の探究】

⇒フィールドワーク②での検証を踏まえ、互いの良さを活かしながら多面的・多角的に考察し、グループとしての解決策を思索し、グループ発表の準備を行う。

【発表 1：グループ発表】

⇒講義・演習 3 の成果として、より有効な活動とその根拠についてグループ発表を行う。

7月24日(土)

【講義・演習 4：行動計画の基礎】

⇒オリエンテーション合宿にて学んだことを踏まえ、一人一人が地元地域で探究活動を実施するための行動計画を作成するとともに、発表 2(個人発表)の準備を行う。

【発表 2：個人発表】

⇒個人発表(振り返りや今後の実践活動の展望)を行い、全体で共有する。

【実践活動のためのガイダンス】

⇒実践活動を実施する上での安全に関する知識や社会のルール・マナーを理解する。

*新型コロナウイルス感染症拡大防止や学校行事等により、日程変更の可能性がります。

【フィールドワーク② コース概要】

食べてもらうコース(食) 予定

浜通り地区沿岸で収穫された魚介類は高い評価を得てきた。その豊かな海の漁業が東日本大震災により、操業を自粛せざるを得ない状況になった。令和2年4月から全魚種が操業の対象とし水揚げ量は回復している。また、ご当地グルメで町おこしの祭典を目標にしていた「なみえ焼そば」も東日本大震災により提供できない状態となった。東日本大震災後の1か月後には避難生活を余儀なくされた町民へ提供を始めることができ、平成25年の「B-1 グランプリ」ではゴールドグランプリを獲得するに至った。フィールドワークを通して、食に対する魅力と課題を見つけ、課題にむけた解決方法を探究する。

来てもらうコース（観光）予定

浜通り地区は観光と降雪が少ない天候に恵まれた場所として発展してきた。東日本大震災発生により、温泉施設や観光施設は被害をうけた。風評被害にあえぐ中で観光を中心とした街づくりは困難なものになった。震災前の水準には至っていないが観光客は回復傾向にある。フィールドワークを通して、浜通り地域の観光の魅力とその改善に向けた取組について課題を見つけ、課題にむけた解決方法を探究する。

知ってもらうコース（産業）予定

福島県浜通り地区は鉄道が走り、高速道路が仙台まで開通してからは工業・スポーツ地区として栄えてきた。東日本大震災発生により被害を受けた既存の産業のほかに新たなる分野の産業が生まれてきた。水素エネルギー研究やメガソーラー等の新しい産業である。福島イノベーションコースト構想の一端やJビレッジ等に触れるフィールドワークを通して、新しい産業に対する魅力と課題を見つけ、課題にむけた解決方法を探究する。

10 交通案内

＜公共の交通機関をご利用の場合＞

磐梯青少年交流の家から3台の車が「いこいの村なみえ」に向けて出発しますが、現地集合でも構いません。

①福島駅経由の車で「いこいの村なみえ」へ行くことを希望される方

東北本線上り福島駅着 8:25

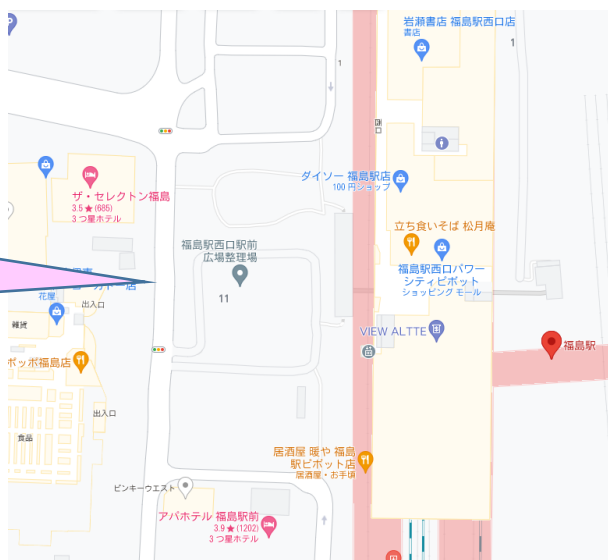
東北本線下り福島駅着 8:32

奥羽本線福島駅着 8:03

8:40 福島駅西口

ヨーカドーさん前発

磐梯青少年交流の家の表示
ピンク色の中型バス型



②郡山駅経由の車で「いこいの村なみえ」へ行くことを希望される方

GoogleMap より

東北本線上り郡山駅着 8:24

東北本線下り郡山駅着 8:17

磐越西線郡山駅着 8:12

磐越東線郡山駅着 8:25



8:40 郡山駅東口

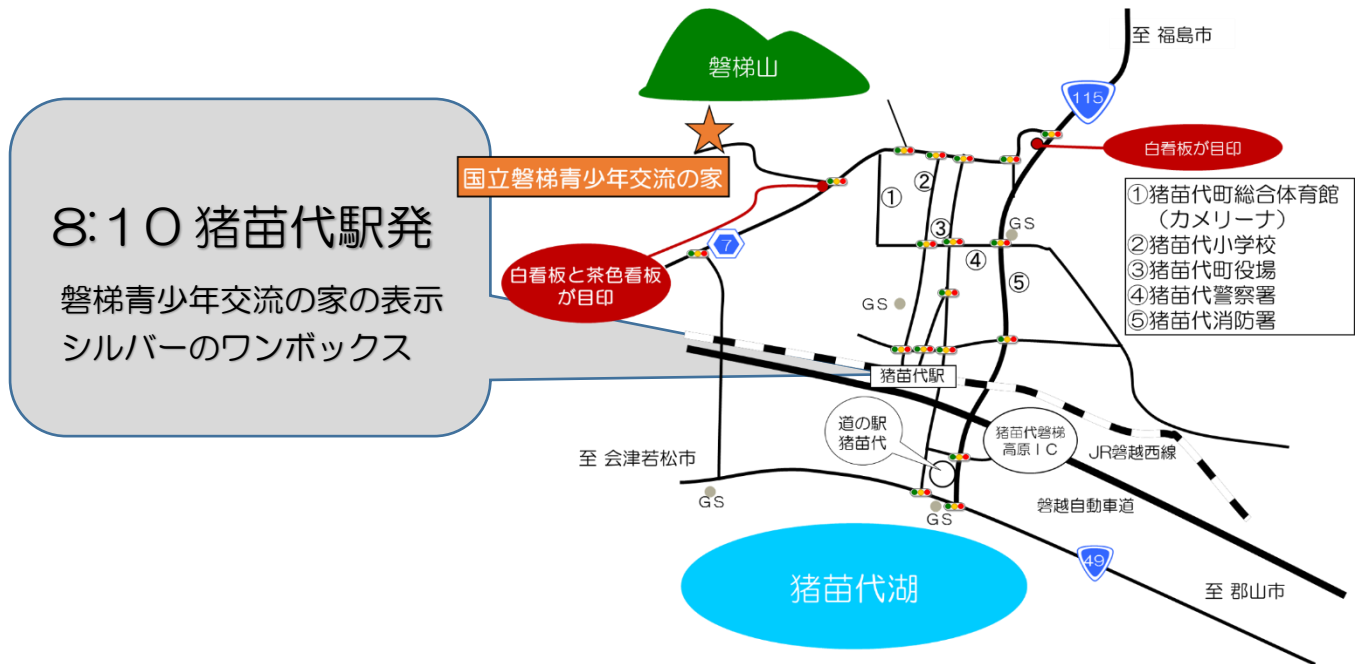
桜交通バス停前発

磐梯青少年交流の家の表示
シルバーのワンボックス

③磐梯青少年交流の家（猪苗代駅経由）から「いこいの村なみえ」へ行くことを希望される方

磐梯青少年交流の家集合 7:50

磐越西線猪苗代駅着 8:05（会津若松駅発 7:35）



④常磐線浪江駅で乗車を希望される方

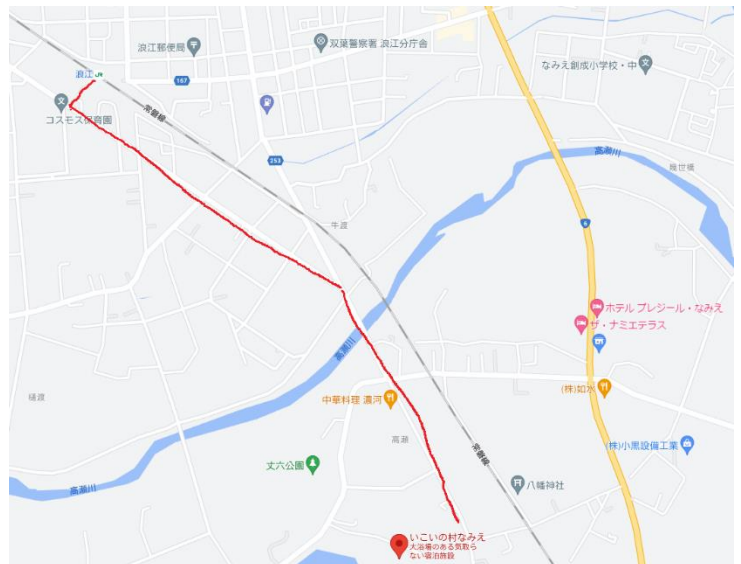
常磐線上り浪江駅着 9:33

→ 10:00 浪江駅発

磐梯青少年交流の家の表示
ピンク色の中型バス

⑤「いこいの村なみえ」へ直接行くことを希望される方

常磐線下り浪江駅着 8:48



GoogleMap より

【問い合わせ・連絡先】

独立行政法人青少年教育機構 国立磐梯青少年交流の家

〒969-3103 福島県耶麻郡猪苗代町字五輪原 7136-1

Tel : 0242-62-2530 Fax : 0242-62-2532 Mail : bandai@niye.go.jp

担当：企画指導専門職 鈴木・湯田